S-Stage eco ボアアップキット　取扱説明書

（レギュラーガソリン仕様）　ボア径：φ 61mm　ストローク：57.9mm（ノーマル）　排気量：169.2cc

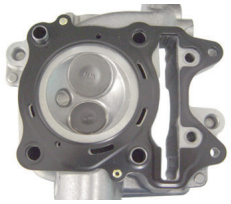
この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

製品番号	01-05-0334（カムシャフトレス） 01-05-0335（カムシャフト付属）
適応車種及びフレーム番号	PCX（JF28-1100001 ～ 1299999） （JF56-1000001 ～ 1021668）

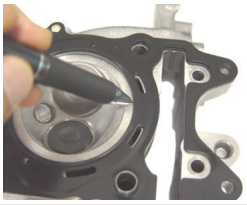
◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

！確認！

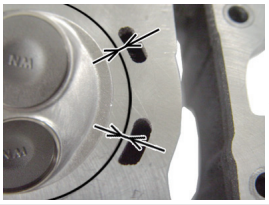
個体差によりノーマルシリンダーヘッドのウォータージャケットの位置が大きくずれているものがあります。ウォータージャケットのずれが大きくなり、ボアと近くなりすぎるとこのキットは使用出来ませんので必ず付属のヘッドガスケットを取り付け、ウォータージャケットの位置ずれを確認して下さい。



シリンダーヘッドにノックピン、付属のヘッドガスケットを取り付ける。



ヘッドガスケットのボアを鉛筆等でなぞる。



ウォータージャケットとの距離を（目安として１mm以上あるか）全周確認する。
近すぎたり、無い場合は使用出来ません。

ボアアップシリンダーに対応したシリンダーヘッドを用意しております。詳しくは最終ページをご確認下さい。

！F.I. コントローラーについて！

当製品のみで使用されますとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ず車種専用のF.I. コントローラーをご使用下さい。
フレームNo.JF28-1100001 ～ 1299999 用：05-04-0011
フレームNo.JF56-1000001 ～ 1021668 用：05-04-0027

！デコンプについて！

フレームNO.JF28-1100001 ～の車両の場合
・ノーマルカムシャフトに組み込まれているデコンプ部品を当製品付属のカムシャフトに取り付けることでデコンプ化することが可能です。
・デコンプ部品の分解・取り付けにはプーラーやプレス等の特殊工具が必要です。
・デコンプ部品を取り付けない場合はアイドリングストップモードで使用すると発進時のエンジン始動に若干の遅れが生じますのでアイドリングモードで使用して下さい。

フレームNO.JF56-1000001 ～の車両の場合
・この車両のノーマルカムシャフトに組み込まれているデコンプ部品は、当製品付属のカムシャフトに取り付けが出来ません。
・この車両をデコンプ化するにはJF28-1100001 ～のノーマルカムに組み込まれているデコンプ部品を使用して下さい。
なお、ノーマルカムシャフトのデコンプ部品のみではホンダ純正部品として入手が出来ません。カムシャフトCOMP. を入手し、分解する必要があります。
・デコンプ部品を取り付けない場合はアイドリングストップモードで使用すると発進時のエンジン始動に若干の遅れが生じますのでアイドリングモードで使用して下さい。

！クラッチセンタースプリングについて！

当製品やマフラー等の組み合わせにより、ドライブベルトの滑りが生じる場合があります。この場合、弊社製クラッチセンタースプリングをご使用下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆
◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎当製品を取り付けると排気量が原付２種を越えるため､一般公道の走行は出来ません。一般公道を走行すると違反となり､運転者ご本人が罰せられる対象となります。
◎スパークプラグは、まずノーマルにて電極部の焼け具合を確認し、個々の車両に合った番数を決定して下さい。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎当製品の取り付けはエンジン脱着作業が必要です。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
◎取り付けの際には工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方､工具等の準備が不十分な方は､技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
◎カムシャフトレスキット：01-05-0334 は弊社製スポーツカムシャフトの同時装着が必要です。
◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
◎当製品を取り付けると出力アップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行には不向きです。

⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）

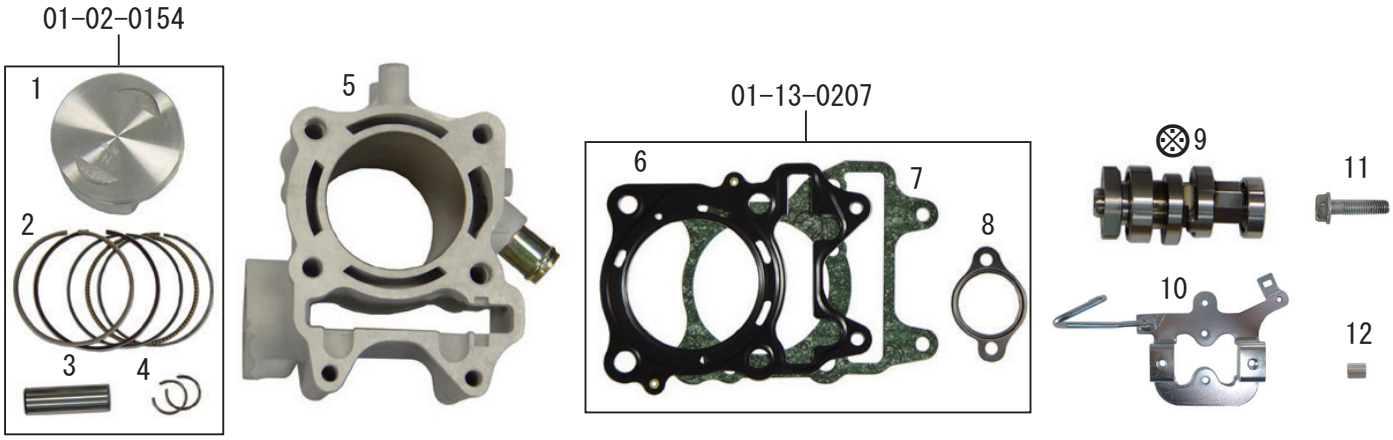
⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

製品内容



番号	部　品　名	個数	リペア品番
1	ピストン 61MM	1	13100-KZR-T10
2	ピストンリングセット 61MM	1	00-01-1072
3	ピストンピン 13MM (L38.5)	1	13112-165-T02
4	ピストンピンサークリップ 13x1	2	00-01-0003 (6 ケ入り)
5	シリンダー 61MM	1	01-01-0110
6	シリンダーヘッドガスケット φ 61.5	1	00-01-1069
7	シリンダーガスケット 0.5MM	1	00-01-0387
8	テンショナーリフターガスケット	1	00-01-1071
※9	カムシャフト (S25D)	1	01-08-0063
10	イグニッションコイルステー	1	00-01-1669
11	フランジボルト 6x30	1	00-00-2824(3 ケ入り)
12	カラー 6.5x13x15	1	17570-K35-T00

※ カムシャフトは 01-05-0334 に付属していません。
※ リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

■取り付け要領　※細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

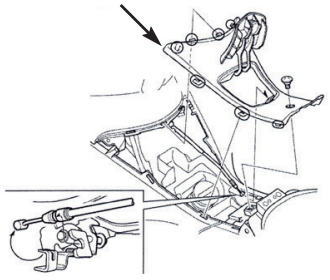
※水平な場所でセンタースタンドを立て、車両をしっかりと安定させる。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行う事。
※取り外した各パーツはホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにする。
※取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所に使用するのかわかるように保管する。

●外装部品取り外し

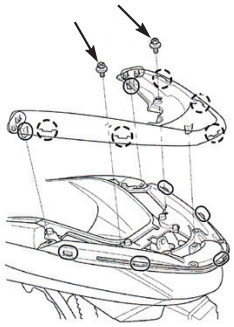
・ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、以下外装部品を取り外す。

[フレーム No. JF28-11 の場合]

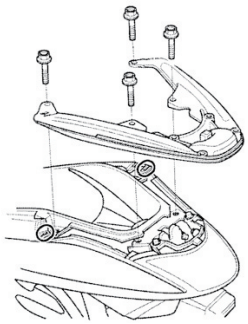
シート
センターカバー



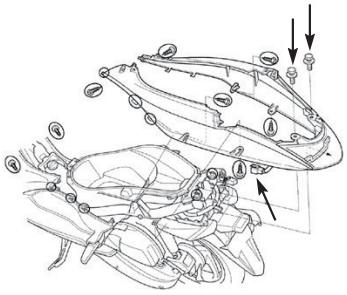
グラブレールカバー



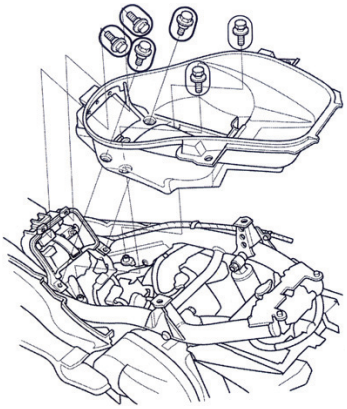
グラブレール



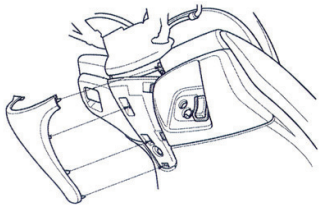
ボディカバー



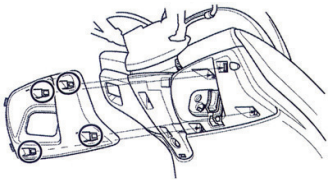
ラゲージボックス



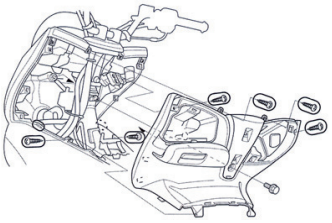
メーターパネルカバー



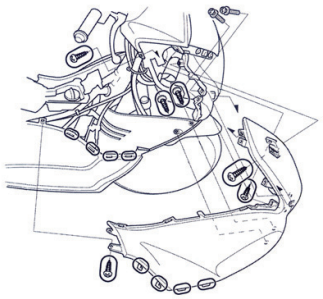
R. インナメンテナンスリッド



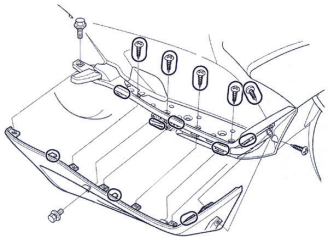
インナカバー



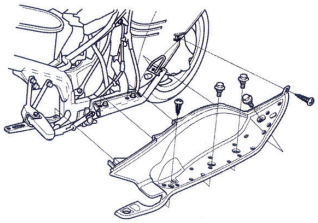
フロントカバー



フロアマット及びサイドカバー

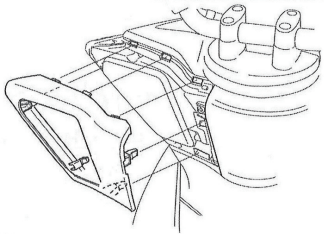


フロアステップ

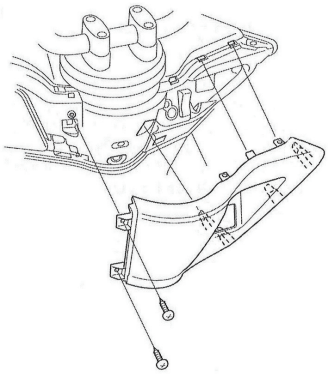


[フレーム No. JF56 の場合]

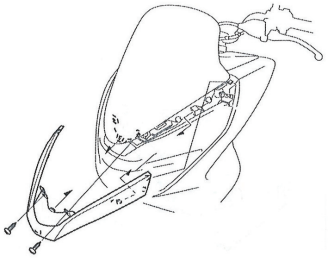
L. インナーアウターカバー



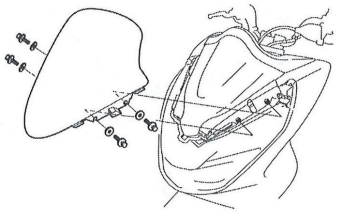
R. インナーアウターカバー



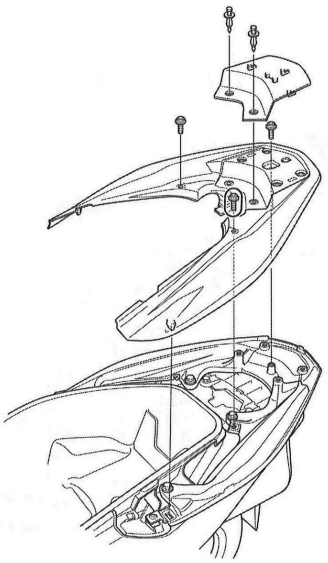
フロントグリル



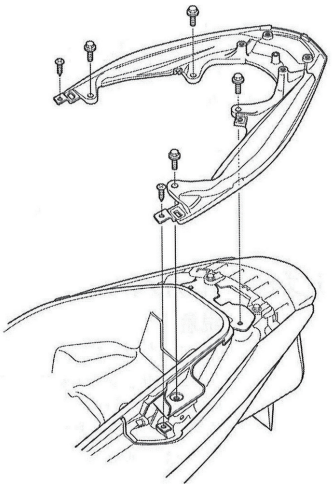
メーターバイザー



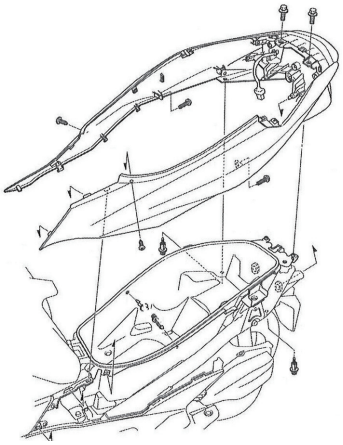
グラブレールカバー



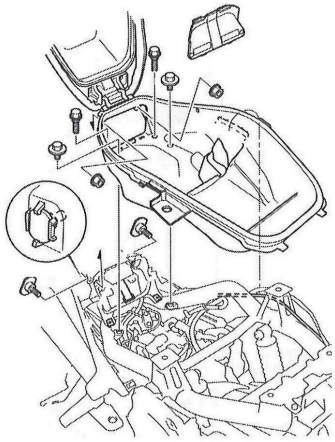
グラブレール



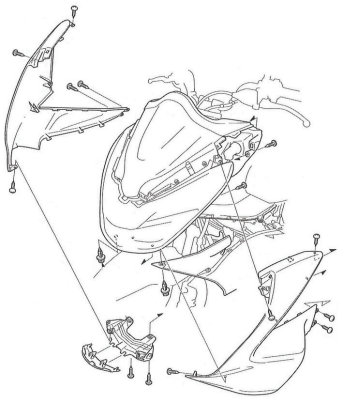
ボディカバー



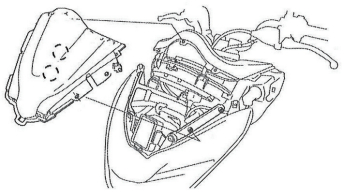
ラゲッジボックス



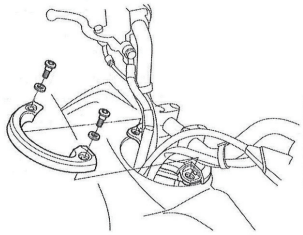
フロントカバー



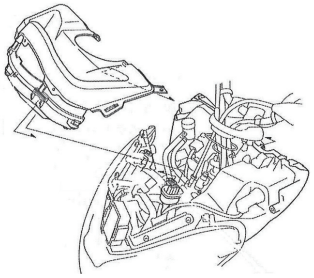
フロントメーターパネル



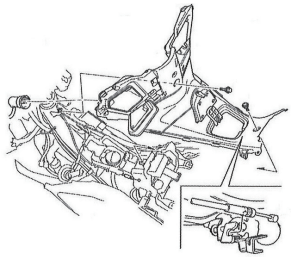
フロントハンドルカバー



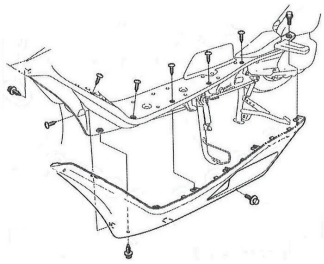
リアメーターパネル



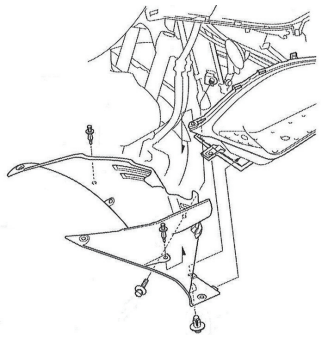
インナーカバー



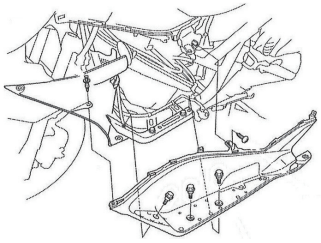
サイドカバー



フロントロアカバー



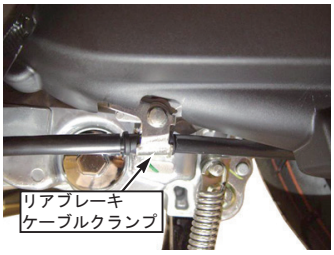
フロアステップ



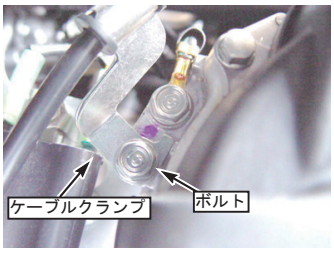
●エンジン取り外し

・リアブレーキアームのアジャストスクリュー／ジョイントを取り外す。ホルダー部からリアブレーキケーブルを取り外す。

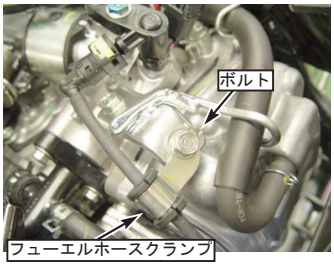
・ボルトを取り外し、リアブレーキケーブルクランプを取り外す。



・ボルトを取り外し、ケーブルクランプをクランクケースから取り外す。

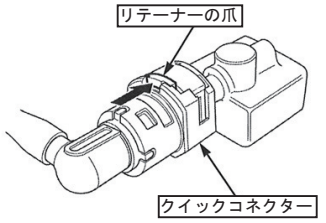


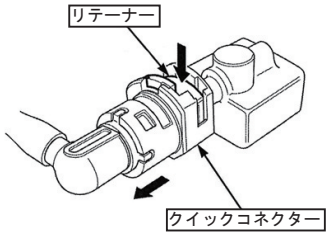
・ボルトを外し、フューエルホースクランプをシリンダーヘッドカバーから取り外す。



・フューエルホースのクイックコネクターの接続を外す。リテーナーの爪を図の方向に押し、リテーナーを下に押しながらコネクターを引き抜く。

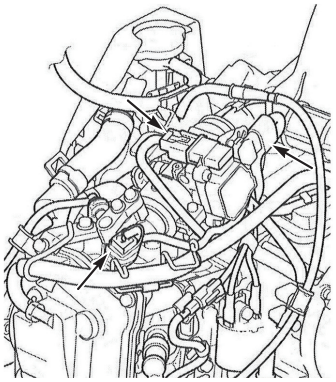
※フューエルホース内の燃料がこぼれるのでコネクター周りをウエスでカバーしておく。



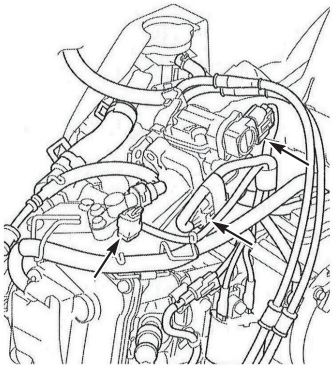


・インジェクター 2P カプラ、センサーユニット 5P カプラ、IAC バルブ 4P カプラの接続をそれぞれ外す。

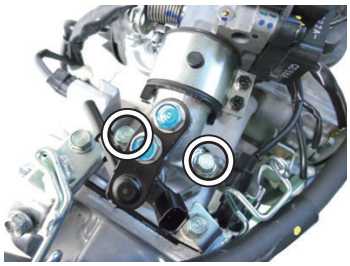
[フレーム No. JF28-11 の場合]

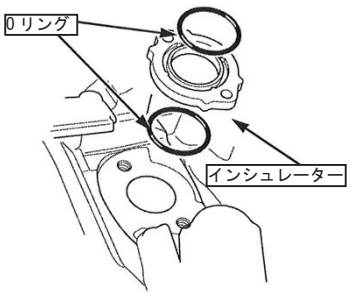


[フレーム No. JF56 の場合]



・2 本のボルトを取り外し、シリンダーヘッドからインテークマニホールドとインシュレータ／O リング 2 個を取り外す。

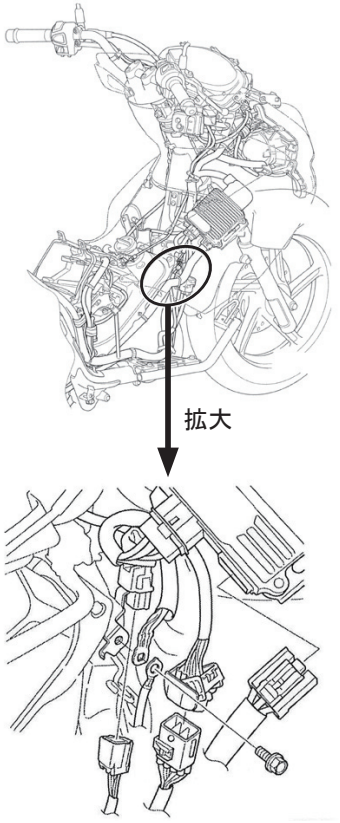




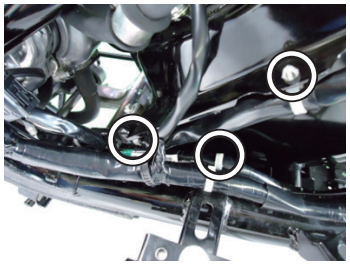
・エアクリーナーコネクティングチューブのバンドのスクリューを緩める。インテークマニホールド／スロットルボディーをコネクティングチューブから取り外し、エンジンの上からよけておく。

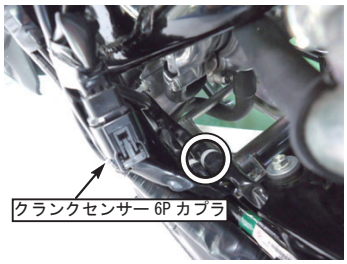
[フレーム No. JF28-11 の場合]

・エンジンコントロールユニット 3P 黒色カプラ、エンジンサブハーネス 10P カプラ、エンジンサブハーネス 6P 黒色カプラの接続をそれぞれ外す。ボルトを外し、アースケーブルを取り外す。



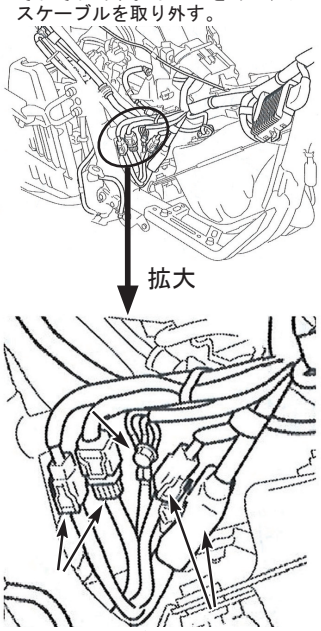
・4 箇所のワイヤーバンドボスをフレームから取り外す。クランクセンサー 6P カプラの接続を外す。



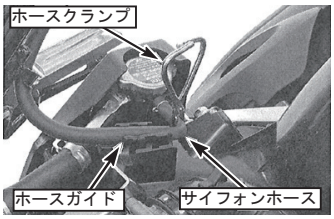


[フレーム No. JF56 の場合]

・エンジンサブハーネスカプラ、AC ジェネレータワイヤカプラの接続をそれぞれ外す。ボルトを外し、アースケーブルを取り外す。



・ホースクランプをラジエターのサイフォンホースに取り付け、ホースの接続を外す。ホースガイドからサイフォンホースを取り外す。



・左右のリアショックのアッパーマウントナット及びロアマウントボルトを緩める。

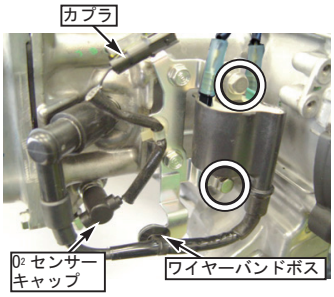
・エンジンハンガーナットを緩め、取り外す。

・フレーム下部にジャッキなどをかけ、リアショックを無負荷の状態にした後、リアショックのアッパーマウントナット／ワッシャ各 2 枚及びロアマウントボルトを取り外し、リアショックを取り外す。エンジンハンガーボルトを抜き取り、エンジンをフレームから取り外す。

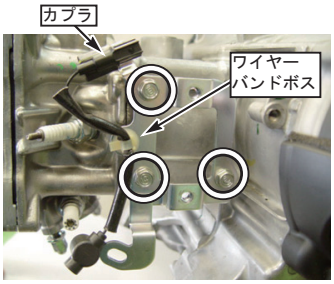
●エンジン分解

1. イグニッションコイル取り外し

・イグニッションコイルの配線の接続を外す。
スパークプラグキャップを外し、ワイヤーバンドボスをステーから取り外す。
2 本のボルトを取り外し、イグニッションコイルをステーから取り外す。O_2 センサーキャップを回すのを 1/2 回転以下に抑えながらセンサーから外し、O_2 センサーハーネスのカプラの接続を外す。



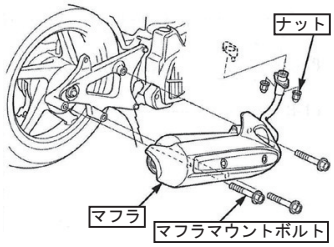
・3 本のボルトを取り外し、ステーをシリンダーから取り外す。O_2 センサーハーネスのワイヤーバンドボスとカプラをステーから取り外す。



2.（ノーマル）マフラ取り外し

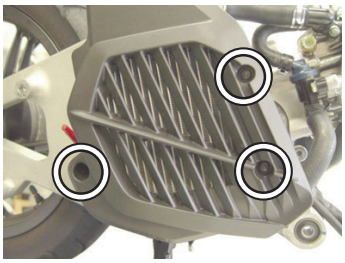
※エキゾーストマフラが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラの取り扱い説明書に従う事。

・シリンダーヘッド側のナット 2 個を取り外す。
3 本のマフラマウントボルトを取り外しマフラを取り外す。

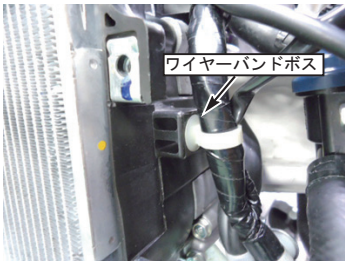


3. ラジエター／ポンプ取り外し

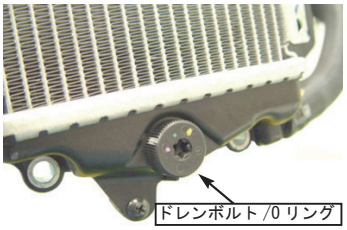
・ボルト 3 本を取り外し、ラジエターカバーを取り外す

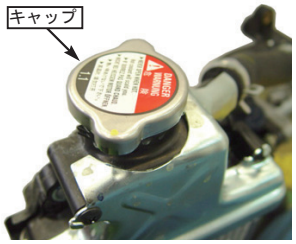


・ワイヤーバンドボスをラジエターから取り外す。



・ラジエターのキャップとドレンボルト /O リングを取り外し、冷却水を排出する。排出後はキャップとドレンボルト /O リングを仮止めし、異物の混入を防ぐ。

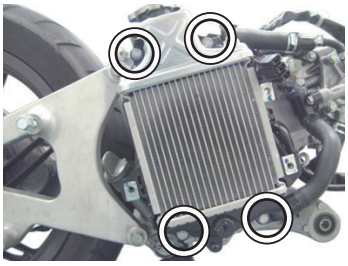




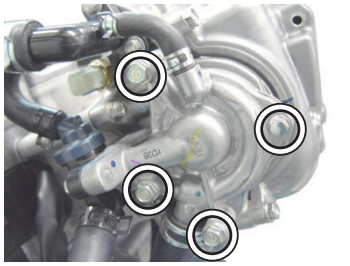
・シリンダーのドレンボルト / シーリングワッシャを取り外し、冷却水を排出する。

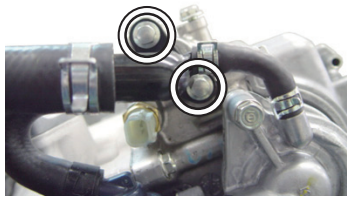
・シリンダーのウォーターホースの接続を外す。

・ボルト、ワッシャ 4 本を取り外し、ラジエターを取り外す。

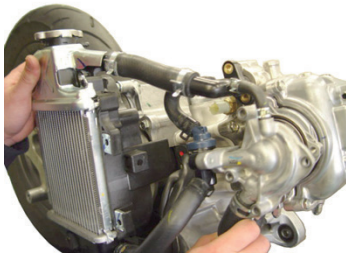


・ウォーターポンプのマウントボルト 4 本を取り外す。ウォーターホースジョイントの 2 本のボルトを取り外す。

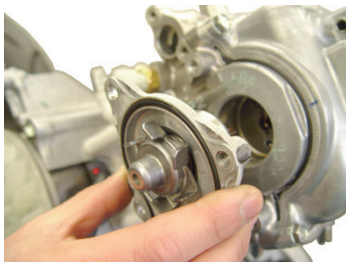




・ラジエター / 各ウォーターホース / ウォーターポンプカバーをエンジンから取り外す。



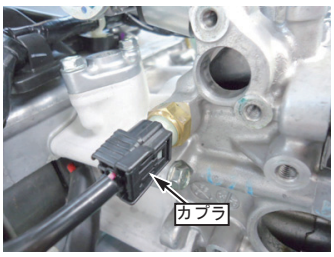
・ウォーターポンプ ASSY. をシリンダヘッドから取り外す。



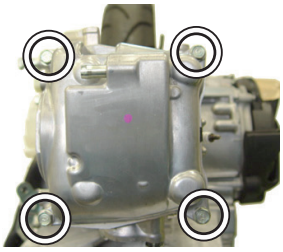
4. シリンダーヘッド、シリンダー、ピストン取り外し

・シリンダーヘッドカバーからブリーザーホースの接続を外し、2 個のホースクランプのボルトをそれぞれ取り外し、シリンダーヘッドから取り外す。

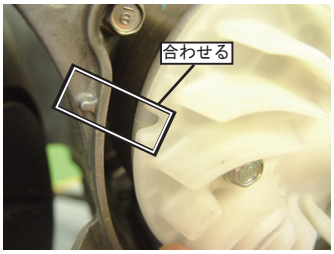
・シリンダーヘッドの水温センサーのカプラの接続を外す。

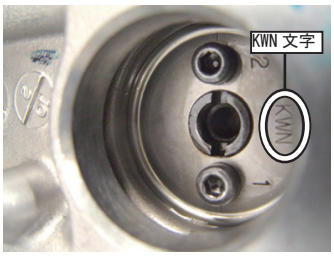


・4 本のボルトを取り外し、ヘッドカバー及びラバーシールを取り外す。

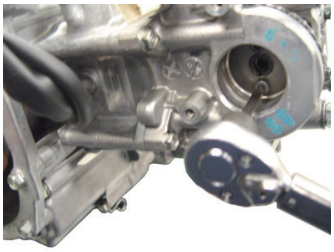


・クーリングファンを時計方向に回し、クーリングファンの切り欠き部（T マーク）とクランクケースの合わせマークを合わせる。カムスプロケットの合わせマークがヘッド面と合い、KWN の文字が前方を向いていることを確認する。

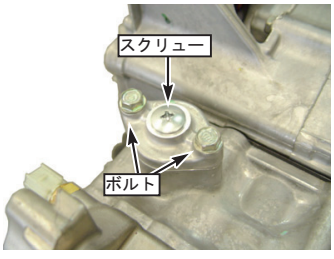




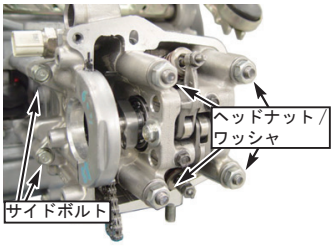
・ボルト 2 本を取り外し、カムスプロケットをカムシャフトとカムチェーンから取り外す。



・カムチェーンテンショナーのスクリューを取り外しておく。
ボルト 2 本を取り外し、カムチェーンテンショナーを取り外す。

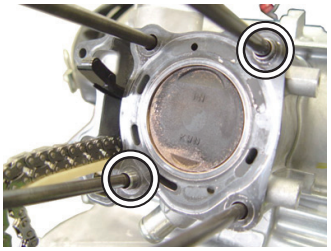


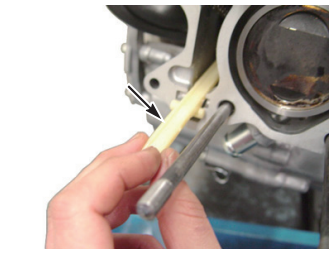
・シリンダーヘッドサイドボルト２本を取り外す。シリンダーヘッドナット４個を対角に数回に分けて緩め、ワッシャ４個と共に取り外す。



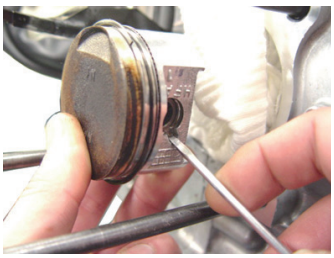
・シリンダーヘッドを取り外す。

・ノックピン２個は再使用するので取り外しておく。カムチェーンガイドを取り外す。

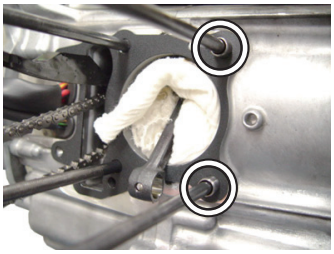




・シリンダーを取り外す。
・クランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホール部にゴミや部品などを落とさないようにウエスを詰め込む。
・ピストンピンサークリップの片側を取り外す。
ピストンピンを外してピストンを外す。



・シリンダーガスケットとノックピン２個を取り外す。

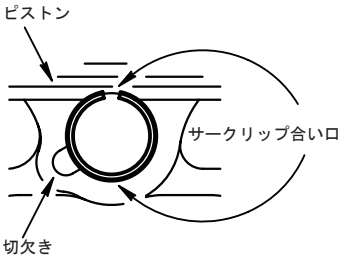


・クランクケースのシリンダー取り付け面をきれいにする。

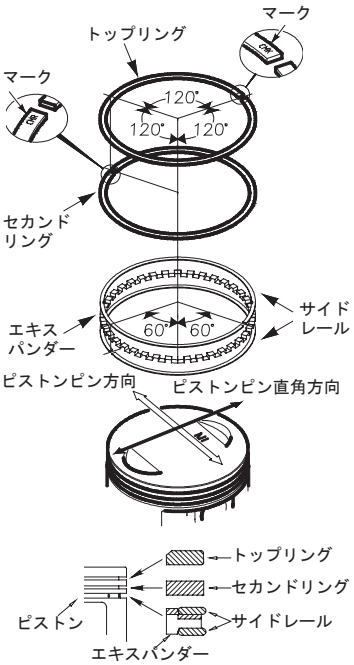
●キット取り付け

1. ピストン取り付け

・付属のピストンの片側のサークリップ溝にピストンピンサークリップをはめ込み、サークリップの合い口をピストン上下方向に向ける。

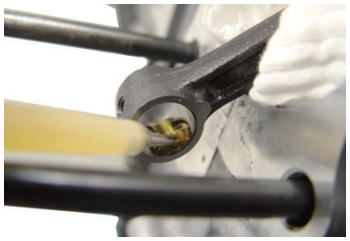


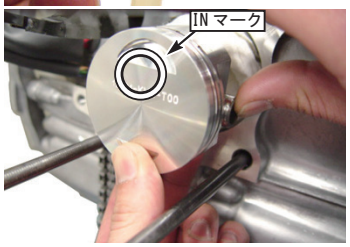
・ピストンリング溝にエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。



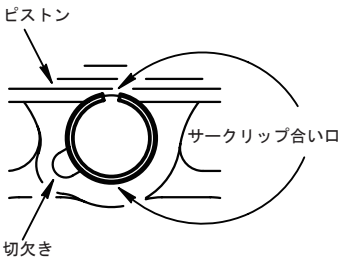
断面にも注意

・コンロッド小端部、ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布しピストンピンにモリブデン溶液を塗布し、ピストン頭部にある“IN”マークを上側（インテーク側）に向け、ピストンを取り付ける。



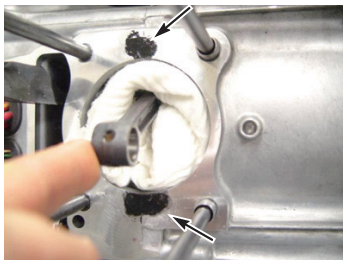


・もう片側のサークリップ溝にピストンピンサークリップをはめ込み、サークリップの合い口をピストン上下方向に向ける。



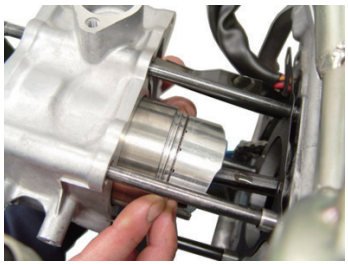
2. シリンダー、シリンダーヘッドの取り付け

・クランクケースに詰めていたウエスを取り除く。
・クランクケースの画像の記す箇所にシール剤を薄く塗布する。
シール剤
：スリーボンド５２１１Ｃ又は相当品

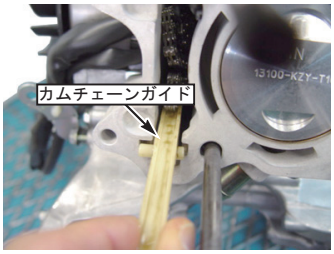


・クランクケースにノックピン２個と付属のシリンダーガスケットを取り付ける。

・ピストンリング部にエンジンオイルを塗布し、なじませる。シリンダー内周部を清掃した後にエンジンオイルを塗布する。カムチェーンをシリンダーに通し、ピストンリングを指で圧縮しながらシリンダーを取り付ける。



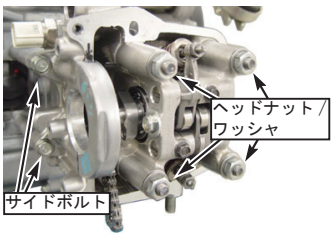
・カムチェーンガイドをクランクケースの溝とシリンダーの溝に合わせて取り付ける。シリンダーにノックピン２個と付属のシリンダーヘッドガスケットを取り付ける。



・カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付ける。

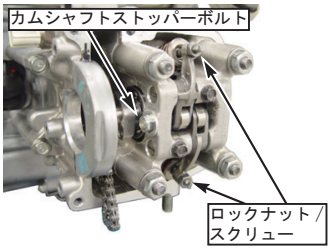
・ヘッドワッシャ４個、ヘッドナット４個を取り付け、対角に数回に分けて規定トルクにて締め付ける。サイドボルト２本を取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ヘッドナット
トルク：27N・m（2.8kgf・m）
サイドボルト
トルク：12N・m（1.2kgf・m）

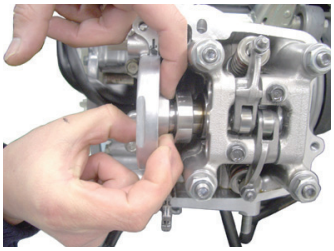


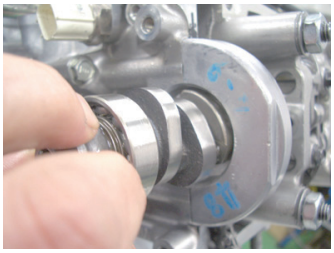
3. カムシャフト取り外し

・タペットアジャストロックナットを緩め、タペットアジャストスクリューを一杯まで緩める。
・カムシャフトストッパーボルトを外す。



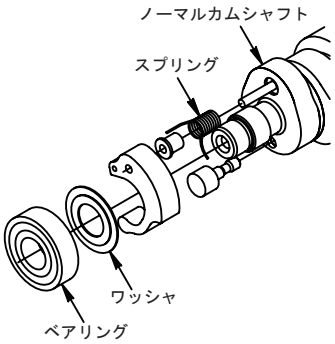
・カムシャフトを下の写真の位置まで抜いたらカムシャフトを 180° 回転させ抜き取る。





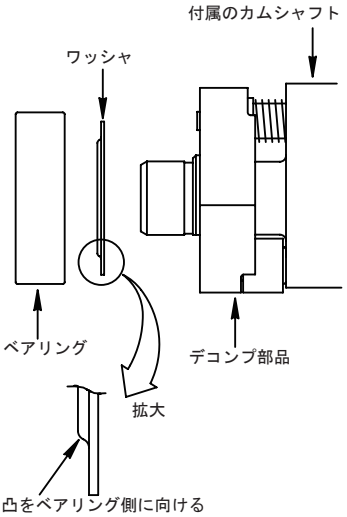
4. デコンプ部品取り付け

※フレーム No. JF56 のノーマルカムシャフトに組み込まれているデコンプ部品は取り付け出来ないので注意。
※フレーム No. JF56 の車両をデコンプ化するには、JF28-1100001 ～のノーマルカムに組み込まれているデコンプ部品を別途用意する必要があるが、デコンプ部品のみではホンダから入手が出来ない為、カムシャフト COMP. として入手し、分解する必要がある。
※アイドリングモードにて使用の場合はデコンプ部品は取り付けなくても使用上問題はない。
※デコンプ部品の取り外し、取り付けにはベアリングプーラーやプレス等を用いて作業する事。
・ベアリングプーラーを用いて、ノーマルカムシャフトのベアリングを取り外して、デコンプ部品を取り外す。



・ベアリングプーラーを用い、付属のカムシャフトからデコンプ側のベアリングとシムリングを取り外す。
※このシムリングはデコンプ部品を取り付ける場合は使用しないので注意。

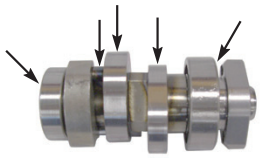
・弊社のカムシャフトにデコンプ部品をノーマルと同様に取り付ける。
※スプリングの方向やワッシャの向きに注意。



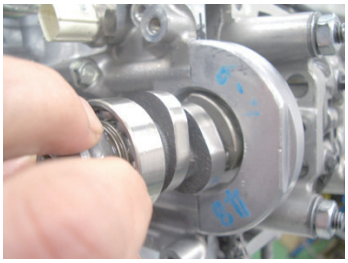
・プレス等を用いて、ベアリングを圧入する。

5. カムシャフト取り付け

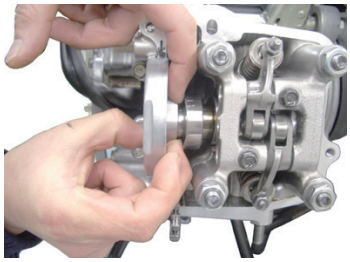
・カムシャフトのカム部、ベアリング部、取り付けた場合はデコンプ部にエンジンオイルを塗布する。



・抜き取った逆の手順でカム山をシリンダーヘッド上部に向けてカムシャフトを取り付ける。

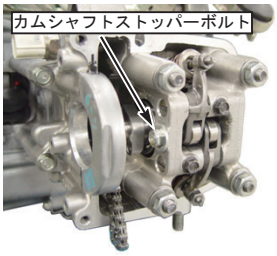


・カムシャフトを下の写真の位置まで挿入したらカムシャフトを 180° 回転させ取り付ける。
※入れ難い場合でもハンマー等は使用しない。

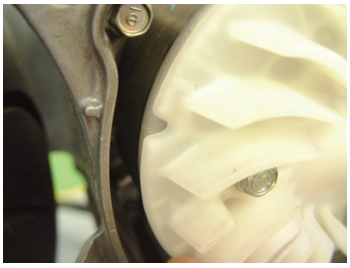


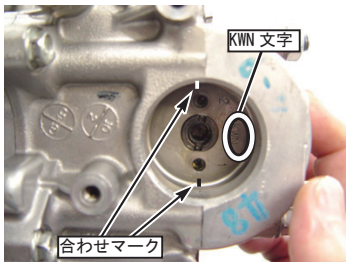
・カムシャフトストッパーボルトを規定トルクで締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
カムシャフトストッパーボルト
トルク：10N・m（1.0kgf・m）



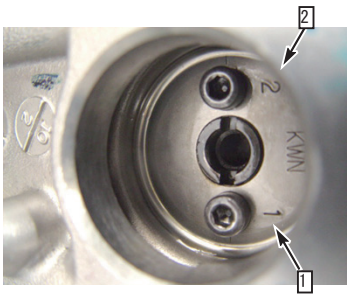
・クーリングファンの切り欠き部（T マーク）とクランクケースの合わせマークが合っている事を確認する。カムスプロケットの合わせマークがヘッド面と合い、KWN の文字がエンジン前方を向くようにカムチェーンに取り付け、カムシャフトに取り付ける。





・ボルト 2 本をカムスプロケットの番号通りに規定トルクにて締め付ける。

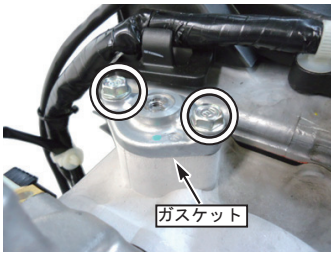
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：8N・m（0.8kgf・m）



・カムチェーンテンショナーのストッパーを時計方向に回し、リフタ部をロックする。

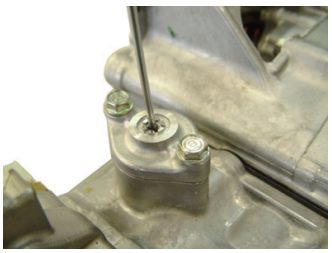
・カムチェーンテンショナーに付属のガスケットを取り付け、ボルト 2 本にてシリンダーに取り付ける。

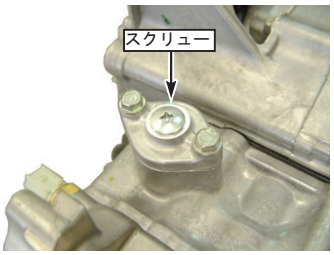
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m（1.2kgf・m）



・反時計方向にストッパーを回し、リフタ部のロックを解除する。カムチェーンテンショナーの溝に O リングが付いている事を確認し、スクリューをカムチェーンテンショナーに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：4N・m（0.4kgf・m）

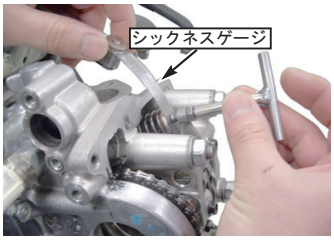




6. バルブクリアランス調整

・クーリングファンの切り欠き部（T マーク）とクランクケース、カムスプロケットの合わせマークとヘッド面がそれぞれ合い、且つ KWN の文字がエンジン前方を向いている事を確認する。
・ロッカーアームのタペットアジャスティングスクリューを締め込んでいき、タペットアジャスティングスクリューとバルブステムエンドの間にシックネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様にバルブクリアランスを合わせてタペットアジャスティングナットを締め付ける。
バルブクリアランス（冷間時）
ＩＮ：０．１０±０．０２mm
ＥＸ：０．２４±０．０２mm

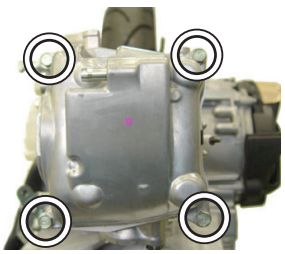
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
タペットアジャスティングナット
トルク：10N・m（1.0kgf・m）



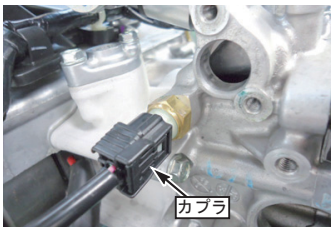
・タペット調整後、時計方向にフライホイールを 2 回転回し、再びクーリングファンの切り欠き部（T マーク）とクランクケース、カムスプロケットの合わせマークとヘッド面がそれぞれ合い、且つ KWN の文字がエンジン前方を向いている状態にする。
・バルブクリアランスを点検し、変化している場合は再調整する。この作業を合うまで繰り返す。
・シリンダーヘッドカバーにシールラバーを取り付け、画像の記す箇所にシール剤を塗布する。
シール剤：スリーボンド５２１１Ｃ
又は相当品

・ラバーシールがヘッドカバーの溝にしっかりはまっていることを確認し、4 本のボルトにてシリンダーヘッドに取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m（1.2kgf・m）



・シリンダーヘッドに水温センサーのカプラを接続する。

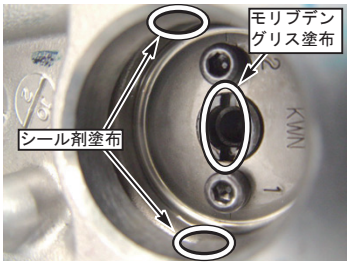


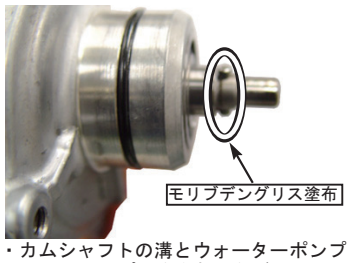
・2 個のホースクランプをボルトにてシリンダーヘッドに取り付け、ブリーザーホースをシリンダーヘッドカバーに接続する。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m（1.2kgf・m）

7. ラジエター / ポンプの取り付け

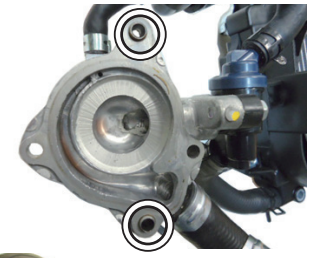
・シリンダーヘッドの画像の記す箇所にシール剤を塗布する。カムシャフトとウォーターポンプシャフトの接合部にモリブデングリスを塗布する。
シール剤：スリーボンド５２１１Ｃ
又は相当品

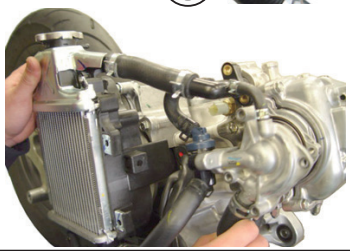




・カムシャフトの溝とウォーターポンプシャフトのピンを合わせながらウォーターポンプ ASSY. を取り付ける。

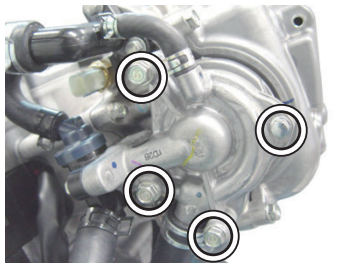
・ウォーターポンプカバーにノックピン 2 個が付いている事を確認し、各ホースやラジエターと共にエンジンに取り付ける。

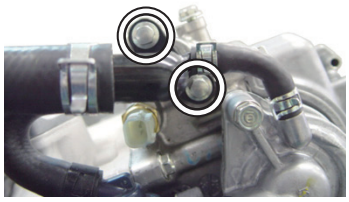




・ウォーターポンプカバーをマウントボルト 3 本、カバーボルト 1 本にて取り付ける。ウォーターホースジョイントを 2 本のボルトにて取り付ける。

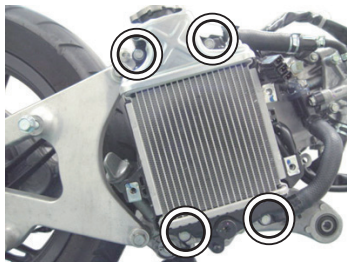
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
マウントボルト
トルク：12N・m（1.2kgf・m）
カバーボルト
トルク：10N・m（1.0kgf・m）
ジョイントボルト
トルク：10N・m（1.0kgf・m）





・ボルト、ワッシャ 4 本にてラジエターを取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト / ワッシャ
トルク：12N・m（1.2kgf・m）



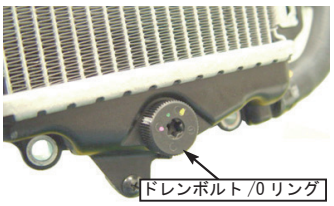
・ウォーターホースをシリンダーに接続しホースクランプを取り付ける。

・シリンダーにドレンボルト / シーリングワッシャを規定トルクにて締め付ける。

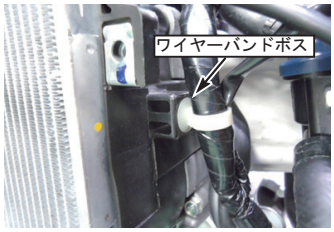
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ドレンボルト / シーリングワッシャ
トルク：12N・m（1.2kgf・m）

・ラジエターのドレンボルトを規定トルクにて締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ドレンボルト
トルク：1N・m（0.1kgf・m）

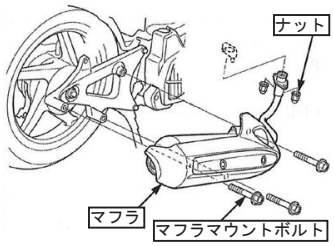


・ワイヤーバンドボスをラジエターに取り付ける。



8.（ノーマル）マフラ取り付け

※エキゾーストマフラが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラの取り扱い説明書に従う事。
・マフラーをセットし、3 本のマウントボルトを仮止めする。シリンダーヘッド側のナット 2 個を仮止めする。



・仮止め部を規定トルクにて締め付ける。
まずナット 2 個から締め付け、その後マウントボルト 3 本を締め付ける。

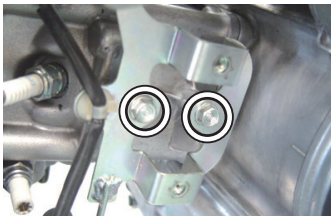
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：29N・m（3.0kgf・m）
マウントボルト
トルク：49N・m（5.0kgf・m）

9. イグニッションコイル取り付け

・付属のステーに O_2 センサハーネスのワイヤーバンドボスとカプラを取り付ける。

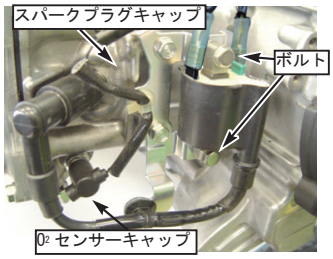
・ステーを 2 本のボルトにてシリンダーに取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m（1.2kgf・m）



・イグニッションコイルを 2 本のボルトにてステーに取り付け、配線を接続する。O2 センサーキャップをまっすぐに接続する。スパークプラグキャップを取り付ける。O2 センサーハーネスのカプラの配線を接続する。

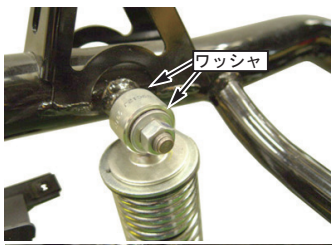
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

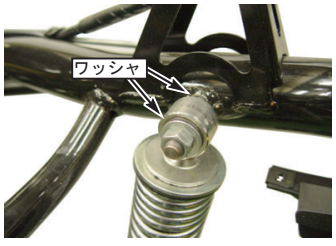


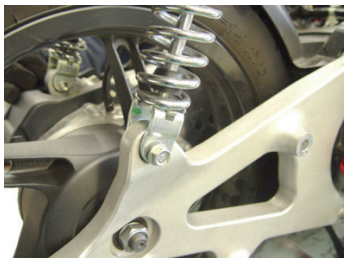
●エンジン取り付け

・エンジンをフレームにセットし、エンジンハンガーボルトを差し込み、ロックナットを仮止めする。

・左右のリアショックをロアマウントボルト及びアッパーマウントナット / ワッシャ各 2 枚にて仮止めする。



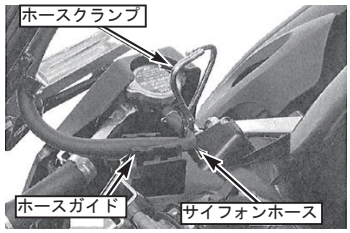




・センタースタンドを立て、車体を安定させた後に仮止め部を規定トルクにて締め付ける。

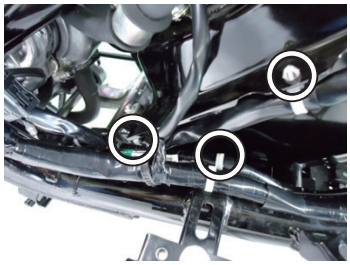
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
エンジンハンガーナット
トルク：49N・m（5.0kgf・m）
リアショックロアマウントボルト
トルク：27N・m（2.8kgf・m）
リアショックアッパーマウントボルト
トルク：24N・m（2.4kgf・m）

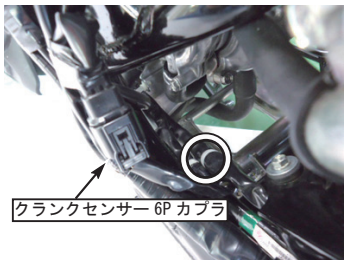
・サイフォンホースをラジエターに接続し、ホースクランプを外す。サイフォンホースをホースガイドに取り付ける。



[フレーム No. JF28-11 の場合]

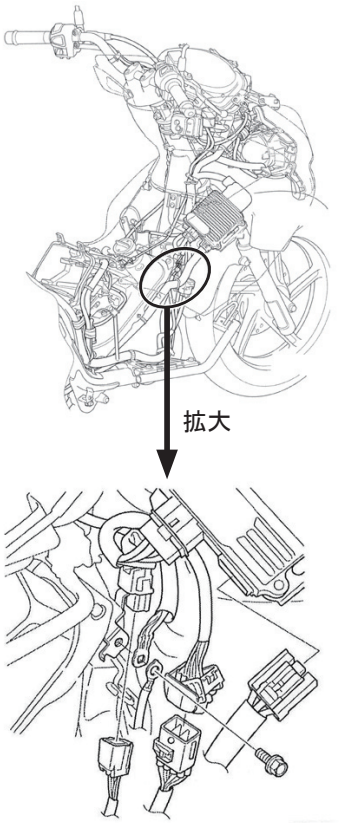
・クランクセンサ 6P カプラを接続する。4 箇所のワイヤーバンドボスをフレームに取り付ける。





・エンジンコントロールユニット 3P 黒色カプラ、エンジンサブハーネス 10P カプラ、エンジンサブハーネス 6P 黒色カプラをそれぞれ接続する。
アースケーブルをボルトにて取り付ける。

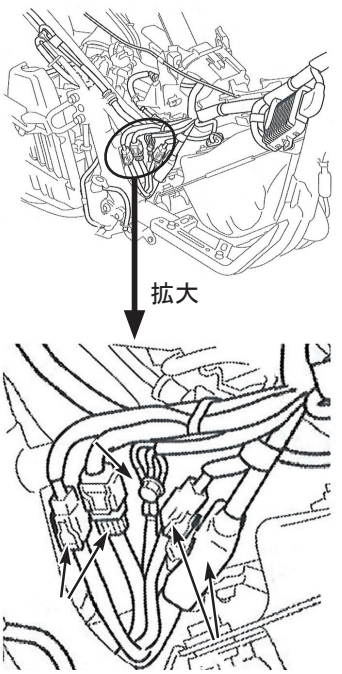
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m（1.2kgf・m）



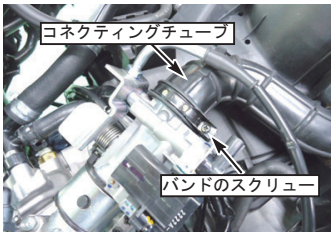
[フレーム No. JF56 の場合]

・エンジンサブハーネスカプラ、AC ジェネレータワイヤカプラをそれぞれ接続する。
アースケーブルをボルトにて取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m（1.2kgf・m）

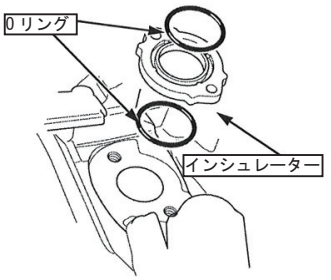


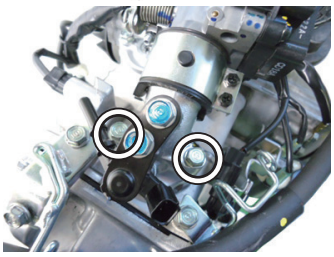
・インテークマニホールド / スロットルボディをエアクリーナコネクティングチューブに取り付け、バンドのスクリューを締め付ける。



・インシュレーターの裏表の溝に O リングがついている事を確認してインテークマニホールドと共にセットし、2 本のボルトにてシリンダヘッドに取り付ける。

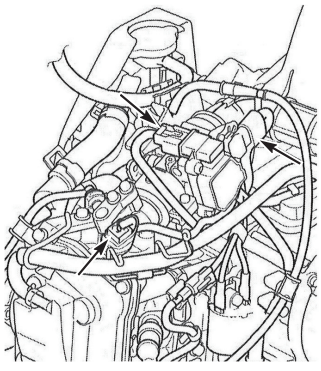
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m（1.0kgf・m）



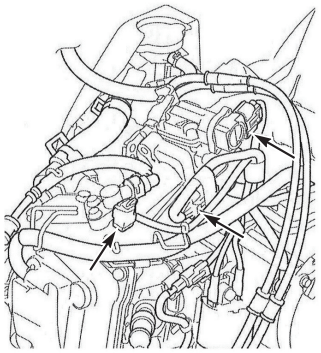


・インジェクタ 2P カプラ、センサーユニット 5P カプラ、IAC バルブ 4P カプラをそれぞれ接続する。
※F. I. コントローラーの取り付けを伴う場合は、その取り扱い説明書に従う事。

[フレーム No. JF28-11 の場合]

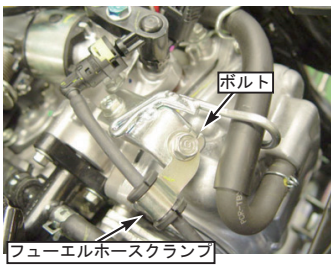


[フレーム No. JF56 の場合]



・フューエルホースのクイックコネクタを接続する。フューエルホースクランプをシリンダーヘッドカバーにボルトにて取り付ける。
※コネクタは「カチッ」と音がし、確実にロックするまで差し込む事。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m（1.2kgf・m）

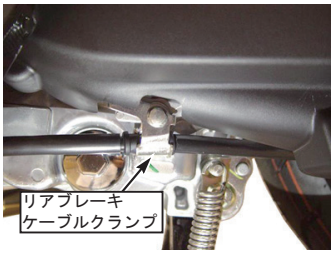


・ケーブルクランプとクランクケースの間に付属のカラーを挟み、付属のフランジボルト 6x30 にて取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：12N・m（1.2kgf・m）

・リアブレーキケーブルクランプをボルトにて取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

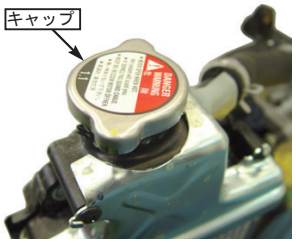


・ホルダー部にリアブレーキケーブルを取り付け、リアブレーキアーム／アジャストスクリュー／ジョイントを取り付ける。

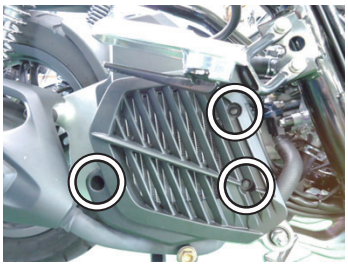
●冷却水の注入

・冷却水をラジエターキャップの口から注入し、一杯まで入れる。

・エンジンを始動し、数分間アイドリングさせた後、スロットルを数回軽くスナップし、冷却水経路のエアを抜く。この際に各部に水漏れが無いか点検を行う。
・エンジンを停止し、冷却水が減っている場合は再度一杯まで冷却水を補充する。ラジエターキャップを取り付ける。



・ラジエターカバーをボルト 3 本にて取り付ける。



※冷却水経路のエアは残っている場合があり、完全に抜けるまで多少時間が掛かるため、リザーブタンクの液量の点検を随時行う事。

●外装類取り付け

・ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、取り外した外装部品を取り付ける。

●クラッチセンタースプリングについて

・S ステージ eco やマフラー等の組み合わせによりドライブベルトの滑りが生じる場合がある。この場合は弊社製クラッチセンタースプリングを取り付け、対処する。

●ウエイトローラーのセッティングについて

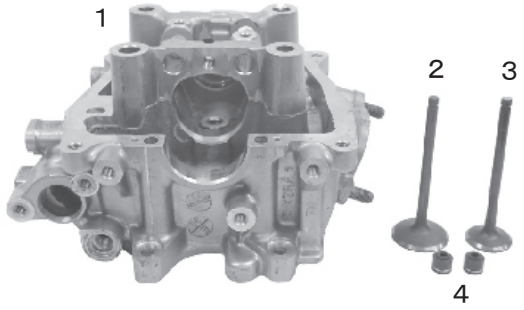
・ウエイトローラーのセッティングにより更に S ステージ eco の性能を発揮する事が出来ます。
・ウエイトローラーは装着パーツにより異なるので下表を参考にセッティングを行って下さい。なお、作業には特殊工具が必要です。

車両	プーリー	マフラー	ウエイトローラー重量
JF28-11	ノーマル	ノーマル	16g x 6pcs
		弊社製※	13g x 6pcs
	弊社	ノーマル	12g x 6pcs
		弊社製※	14g x 6pcs
JF56	ノーマル	ノーマル	15g x 6pcs
		サイレントスポーツ	14g x 6pcs
		パワーサイレントオーバル	13g x 6pcs
		コーンオーバル	13g x 6pcs
	弊社	ノーマル	15g x 6pcs
		サイレントスポーツ	13g x 6pcs
		パワーサイレントオーバル	11g x 6pcs
		コーンオーバル	11g x 6pcs

※パワーサイレントオーバルマフラー、サイレントスポーツマフラーを示す。

シリンダーヘッドセットについて

ウォータージャケット位置が大きくずれたシリンダーヘッドにて弊社ボアアップキットを使用すると、場合により燃焼室とウォータージャケットが吹き抜け、エンジンに悪影響を与えてしまうことがあります。
弊社ではボアアップキットに適した位置にウォータージャケットの通路を配したシリンダーヘッドセットを用意しております。上記のような事態になる前に是非ご活用下さい。
なお､シリンダーヘッドセットは弊社ボアアップキットをご購入頂いた方のみを対象とさせて頂きます。ご購入の際には､ご面倒ですがキットを梱包している箱の商品ラベルを切り取り、注文書へ貼り付け頂くと共に必要事項をご記入のうえご郵送下さいますようお願い致します。
※シリンダーヘッドセットにはバルブスプリング周辺のパーツが付属しておりません。お手持ちのヘッドから組み替える、もしくは別途ご用意の上、組み立て作業が必要です。



シリンダーヘッドセット商品内容

番号	部　品　名	個数
1	シリンダーヘッドＡＳＳＹ．（ＥＸスタッドボルト付）	1
2	ＩＮバルブ	1
3	ＥＸバルブ	1
4	バルブステムシール	2

シリンダーヘッドセット注文書

株式会社 スペシャルパーツ 弐川 行

お名前　　様

ご住所

お電話番号

車種　　ＰＣＸ

フレームＮｏ.

ご注意
お支払い方法は代引のみとなります。

対象フレーム No.	品番	品名	定価（税抜）
JF28-1100001 ～ 1299999 JF56-1000001 ～ 1021668	０１―０３―００２０	シリンダーヘッドセット	￥３２，０００

このキットを梱包している箱の商品ラベルを切り取り、下の枠内にのりやテープ等で貼り付け、固定して下さい。
※ラベルの添付が無い場合、シリンダーヘッドセットを購入して頂く事が出来ません。ご注意下さい。

商品ラベルをお貼り下さい

2015. 7. 30